

歯周病と動脈硬化の関係 (脳梗塞・狭心症・心筋梗塞など)

青年期・壮年期シリーズ vol.17

歯周病菌が動脈硬化を促進。血管が詰まりやすくなり、脳梗塞や狭心症、心筋梗塞などを引き起こします。

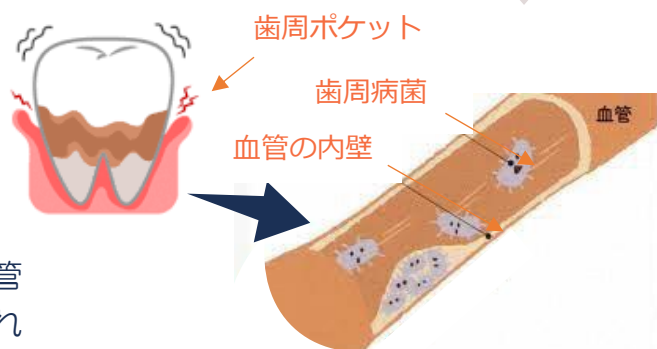
歯周病菌は血管に炎症を起こし、血管そのものを硬化させたり、血栓を形成するように働いて動脈硬化を進行させると考えられています。

歯周病が進行すると

歯周ポケットから歯周病菌が血液中に侵入

↓
動脈硬化を起こしている血管が歯周病菌に感染

↓
歯周病菌や歯周病菌が産生する毒性物質、炎症性物質が血管壁に炎症を起こし、血管を狭める作用を促進すると考えられています。



動脈硬化

動脈硬化とは血管壁が厚く硬くなり血管が狭くなる病気です。動脈は、心臓から送り出される血液を全身に運ぶ血管です。酸素や栄養素を運ぶ重要な役割を持っており、通常は弾力性がありしなやかですが、加齢による老化や様々な危険因子によって厚く硬くなってしまいます。

- 脳に起こると
脳血管疾患（脳梗塞や脳内出血）
- 心臓に起こると
虚血性心疾患（狭心症や心筋梗塞）を引き起こします。

正常な血管

動脈硬化を起こした血管

血液の通りが狭く、詰まりやすくなる

線維化した内膜

コレステロールにより厚くなった動脈壁

脳梗塞

脳の動脈が閉塞し、血液がいなくなって脳が壊死（えし）してしまう病気です。片方の手足の麻痺やしびれ、呂律（ろれつ）が回らない、言葉が出てこない、視野が欠ける、めまい、意識障害など様々な症状が突然出現し、程度は様々ですが後遺症が残ることが多い病気です。

狭心症

狭心症は心臓に血液を送る冠動脈が詰まりかけている、あるいは血管の痙攣（けいれん）によって一時的に血管が細くなって血の巡りが悪くなっている状態です。胸痛などの症状は通常数分以内に収まりますが、放置すると心筋梗塞を引き起こす可能性のある危険な病気です。

心筋梗塞

心筋梗塞は狭心症がもっと進んだ状態です。すなわち、冠動脈が完全に詰まってしまい、心臓の筋肉が壊死（えし）してしまうため心臓の動きが止まってしまいう命に関わる病気です。